

こんにちは。民生委員です

いつもあなたのそばにいます

気に掛けてくれる人が
そばにいる安心感

東中新宿在住 相原さんご夫妻

明るく笑顔を絶やさない大庭さんにいつも元気をもらっています。この地域も高齢者世帯が増えてきました。気に掛けてくれている人がそばにいるということは、とてもありがたいですね。これからも安心して住み続けられます。

出合いの数だけ
楽しみが増えています

光ヶ丘地区民生委員 大庭 博さん

民生委員として活動して7年になります。出合いの数だけ楽しみが増え、活動への励みになっています。昨年体調を崩し、不安を抱えるかたがたの気持ちがより分かるようになり、地域での支え合いの大切さや民生委員の使命をあらためて認識しました。これからも相手に寄り添い、地域に根ざした活動をしていきたいです。

高齢者世帯を対象とした民生委員による「声かけ訪問」が、5・6月に市内一斉に行われました。「民生委員って何?」「自分には関係ない」そんな声も聞かれたそうです。今号では、民生委員が地域でどんな役割を担い、日々活動をしているかを紹介します。いつもあなたのそばにいる民生委員、困った時は相談してみてください。

図 保健福祉総務課 ☎7167-1131・民生委員児童委員協議会 ☎7163-9000

案 内人となって適切な 機関につないでいます

市内では現在525人の民生委員が活動しています。皆さんの日常で生じるさまざまな悩みや不安をお聞きして、内容に応じて行政や社会福祉協議会等の専門機関への橋渡しをしています。



▲スムーズに連携がとれるよう関係者で定期的に集まっています

一 住民だから分かることがあります

民生委員はその地域に住む住民の中から、町会等の推薦、厚生労働大臣の委嘱を受けて、全てボランティアで活動しています。私たちが一住民だからこそ、話題を共有できたり、日々の暮らしの中で皆さんのちょっとした変化に気付くことができたりします。

相 手に寄り添った対応を心掛けています

人と人とのつながりの希薄化や詐欺・悪質行為が増えているため、「民生委員」と言っても信用してもらえず、活動の難しさを感じることもあります。プライバシーの問題に配慮しながら、そのかたの状況や気持ちに寄り添った対応を心掛けています。

児 童の福祉に関する支援も行っています

全ての民生委員は「児童委員」の職を兼ね、高齢者だけではなく、児童福祉に関する事柄にも取り組み、中でも、専門的に行う委員を「主任児童委員」と呼んでいます。



▲子育てサロンなど、ママたちが集える場を作ったり、子育ての悩みを聞いたりしています

秘 密は守ります。安心して相談してください

民生委員には、守秘義務が課せられています。相談で知り得た個人情報、退任後も含め口外することは決してありません。

私たちはこんな活動をしています



子どもの
非行や不登校で
悩んでいます…

病気などで
生活に困って
います…

子育てのことで
アドバイスして
ほしい…

福祉サービス
について
知りたい…

高齢になり
一人暮らしで
心配…

こんなとき
相談してください

民生委員は、それぞれ担当地区を受け持っています。相談したいけれど、自分の地域の民生委員が分からないというかたは、保健福祉総務課(☎7167-1131)にお問い合わせください。

▲「喜びも大変さも分かち合える仲間」と語る光ヶ丘地区(東中新宿町会)の民生委員の皆さん

地域の見守り役 民生委員

柏市には、高齢者が福祉面で困った時に相談をする場や、支援を受ける制度がいろいろありますが、内容によって異なるため、少し複雑に見えるかもしれません。それでも、市民の皆さんの多くは、困った時に自ら調べたり、問い合わせをしたりして、適切な相談機関や支援制度を見つけ出されます。

しかし、それができない市民のかたがたもいます。理由はさまざまですが、単身世帯で少し体が弱く、移動が不自由であったり、家にこもりがちであったりと、困っているけれど自ら調べられない、問い合わせができないというかたがたがいます。市役所などの公的機関は、市民が自ら尋ねてくることを前提にしており、相談に来なければ支援制度も受けられないことになってしまいます。

そこで民生委員さんです。民生委員さんは、担当地区の高齢者を「声かけ訪問」で認識し、顔馴染みになり、市役所に代わって「何かあった時に相談してくださいね」と、地域と市役所をつなぐ役割を担っています。高齢者だけでなく、児童虐待など地域の問題についても対応してもらい、市役所との連絡窓口として活躍いただいています。

民生委員さんは、地域福祉になくてはならない存在です。地域のいわゆる社会的弱者のかたに気付き、時に手を差し伸べ市役所につないでいくという、とても大切な役回りです。そして、地域のつながりが弱くなる中で、その役割は一層重要になってきています。

しかし、その民生委員さんの成り手が現在少なくなっています。ボランティアで、地域を回る、何かの時に相談を受けるといふ、仕事の大きさに躊躇(ちゅうちょ)してしまうようです。このまま民生委員さんがいなくなると、社会的に弱いのかたに手を差し伸べる人がいなくなり、地域福祉は崩壊してしまいます。

市民の皆さんにお願いします。まず、この民生委員の存在を知り、かつその活動に大きな敬意を払いましょう。民生委員には少なくとも、一人の地域住民として、民生委員の活動をぜひ支えていただきたいと、切にお願い申し上げます。

市長室だより

秋山浩保

48

